

就任のごあいさつ

副議長あいさつ



小峯 仁一

先の臨時議会におきまして、全議員のご推挙を賜り、行方市議会副議長に選出を頂きましたことは、光栄の至りでありますと共に、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

52名の議員の個々の意見を尊重しながら、合意形成を図り、公平公正な議会運営に努めます。また、議長を補佐し、誠心誠意努力したいと存じております。

合併により誕生した行方市は、霞ヶ浦、北浦の両湖に囲まれた湖岸地帯と、肥沃な行

方台地を有することから、基幹産業は農業であります。この地では、県を代表する様々な銘柄野菜が生産されています。これらを「なめがた」ブランドとして産地育成し、併せて、商工観光事業の振興と関連させ、地域の特性を生かした新しいまちづくりが進められるべきと考えております。

多種多様なニーズが求められている今日の中で、より多くの市民の皆様の声聞きながら、行方市の更なる発展に寄与したいと思っております。今後、市民の皆様のご支

援ご協力をお願いしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



議長あいさつ



高野 貫一

去る9月13日に開かれまして、行方市初の臨時会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、初代議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄に存じますとともに、その職責の重大さを改めて痛感しております。

今日の長引く景気低迷の中、本市も厳しい財政運営を強いられている一方で、本格的な地方分権、地方主権の時代を迎え、地方の特性・個性を活かした行政運営が求められています。また、少子・高齢化が進む中、福祉・医療・教育

等、質の高い生活環境の充実に求められています。

その期待に応えるべく、私たち議会は、合併を契機とし、議会に与えられた機能を十分に活かし、市民の皆様が何を望み、何を願っているのか、その総意を市政に反映し、住みよい明日の行方市を創っていくかなければなりません。

行方市は、多くの伝統と文化に培われ、水と緑、肥沃な大地に恵まれ、産業と文化が融合した将来の発展性を限りなく秘めているものと確信しております。

我々議員52名は、一丸となつて、本市の発展と市民の福祉向上に誠心誠意全力で取り組んでいく所存であります。

今後とも、市民の皆様には、市議会へのご支援、ご協力をお願いするとともに、ますますのご健勝をご祈念申し上げます。就任のご挨拶といたします。